

## 国連総会 UHC に関するハイレベル会合・オランダ医療視察の件

1. 出張期間 : 令和元年 9 月 22 日 (日) ~27 日 (金)
2. 出張先 : ニューヨーク (アメリカ)、ロッテルダム (オランダ)
3. 出張者 : 横倉会長  
(随行) 能登国際課長
4. 内 容 :

9 月 22 日、ニューヨーク到着後、市内ブロンクスにある野口英世博士が埋葬されているウッドローン墓地を米国日本人医師会 (ニューヨーク野口英世記念会) のロバート・柳沢会長、本間俊一元会長、加納良雄事務局長と訪れ、墓参及び献花を行った。当日夜、加藤勝信厚生労働大臣主催による夕食会に米国日本人医師会と共に招待され、米国における医療の実際を主に懇談を行った。

9 月 23 日、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) に関する国連総会ハイレベル会合」に、横倉会長が世界医師会前会長として世界医師会を代表して参加した。横倉会長は、昨年「NCDs に関する国連総会ハイレベル会合」において世界医師会会長として講演をして以来、2 回目の参加となる。国連の「誰ひとり取り残さない」を理念とした 2030 年を目標年とした「持続可能な開発目標 (SDGs)」において、UHC の達成が目標のひとつとして掲げられているが、国連総会のハイレベル会合において UHC がテーマとなるのは今回が初めてであり、その重要性が改めて認識された会合であった。

開会式では、ムハンマド・バンデ国連総会議長、アントニオ・グテーレス国連事務総長、テドロス・アダノム WHO 事務局長、デイビッド・マルパス世界銀行総裁などからあいさつが行われた。その後の全体会合で、各国首脳、保健大臣等から自国における UHC 推進の課題と取組状況が報告された。パネル 1 では、6 月に WHO の UHC 親善大使に任命された武見敬三参議院議員がグローバルムーブメントとなっている UHC の推進に向け、各国は独自のロードマップを作成して取り組んで行くべきであるとのスピーチを行った。クロージングに際して登壇した安倍晋三総理は、日本は本年 G20 大阪サミット及びアフリカ開発会議 TICAD7 を開催し、各国首脳と UHC を議論した結論として、各国政府の責任の下での様々な援助国・機関の支援を活用した一貫した政策の推進、栄養・水・衛生等の分野横断的取組、UHC に必要な財政の強化などを強調した。総会ではプライマリ・ケアに特に重点を置きながら、UHC に焦点を当て、財政の持続可能性を確保し公的支出を適切に増やすよう奨励する内容の「政治宣言」が承認された。

夕方、ニューヨーク市内の Nippon Club において、日経新聞社、日本政府、JICA、世界医師会、国連開発計画、国際製薬工業連盟、ストップ結核パートナーシップ等の共催により、「UHC と感染症」をテーマに国連総会のサイドイベントが行われた。横倉会長は、基調講演として「UHC の実現における医師と医師会の役割」と題して、世界医師会長としての UHC 推進における活動及び 6 月の Health Professional Meeting (H20) 2019 の概要を報告。医療施設、医療システム、UHC の達成とその維持において、医師と患者、国民の間における信頼が重要であることを強調した。その他、本年第 3 回野口英世アフリカ大賞を受賞したウガンダのフランシス・オマスワ医師、国際製薬工業連盟トーマス・クエニ事務局長、JICA 戸田隆夫上級審議役が講演した。

25 日、オランダのロッテルダムにおいて開催された「Health Holland Visitors Program2019」に横倉会長は鈴木邦彦前常任理事と参加し、セミナー及びエラスムス大学医療センターの見学等を行った。同日夜、オランダ医師会レネ・ヘマン会長主催による夕食会に招待され、ヘマン会長及び同医師会役員と懇談を行った。オランダでは安楽死が法制化されており、WMA における安楽死反対の議論の過程で、オランダ医師会は昨年末、一時的に WMA を脱退している。

横倉会長は、日本で安楽死を取り上げたドキュメンタリー番組が反響を呼んだこと、アジア大洋州医師会連合 (CMAAO) のアジアの加盟国医師会の間では安楽死に反対する意見が大勢であったこと、WMA でも法制化されている国の意見を尊重していることを述べ、同医師会の早い時期での WMA への再加盟をヘマン会長に呼び掛けた。